事務事業評価シート

(H.29)No.	4020-2	(H.28)No.	4020-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	一般市道整備事業(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	道路河川室	小川 光	

会計区分	事業コード	393502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	5 快適な生活環境づくり
	施 策	2 道路整備
重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。
事業内容
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備について、既存道路を活用しながら効果的に実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)			
主な事業の実績・計画	<H27繰越分> 市道改良(7路線) 54,195千円 ・工事 L=410m ・委託料(測量設計8路線ほか)	<H28繰越分> 市道改良(10路線) 2,800千円 ・工事費 ・委託料	H.30年度(事業計画) H.31年度(事業計画) H.32年度(事業計画)		
	<H28現年分> 市道改良(8路線) 89,455千円 ・工事 L=440m ・委託料(測量設計2路線ほか)	<H29現年分> 市道改良(10路線) 93,400千円 ・工事費 ・委託料			
			市道改良 110,000千円 ・工事費 ・委託料	市道改良 110,000千円 ・工事費 ・委託料	市道改良 110,000千円 ・工事費 ・委託料

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費	54,195千円	89,455千円	2,800千円	93,400千円	110,000千円	110,000千円	110,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債	54,100	88,600	2,800	93,400	110,000	110,000
	その他()						
	一般財源	95	855	0	0	0	0
人工数	職員	1.88人	0.42人	0.52人	0.94人	0.94人	0.94人
	臨時職員等		0.10人	0.20人	0.30人	0.30人	0.30人
②概算人件費	0千円	14,100千円	3,320千円	4,240千円	7,560千円	7,560千円	7,560千円
①+②総事業費	54,195千円	103,555千円	6,120千円	97,640千円	117,560千円	117,560千円	117,560千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の実績評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
道路事業予算が年々減少している状況下、特に地域内生活道路等については部分的な改良など、柔軟な整備手法の採用が必要となっています。事業効果の検証結果や、地域との連携により事業を厳選し、効率的な事業推進を図りました。関係する組織や団体との連携により、引き続き安全な交通環境を確保するため、既存道路の改良を推進します。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
地域などからの要望事業については道路環境等の内容を調査し、部分改良や待避所等有効な効果が発揮できる整備手法を協議・検討して事業を推進します。柔軟な整備手法について検討及び協議を行い、引き続き地域要望の道路整備を促進します。	